

重点課題

- 【課題1】** 目的に応じて、質問を工夫することができる。
 (設問 3二) 話す・聞く (平均正答率35.3%)
 選択の前半部分の言葉にひかれ、誤答(1・2)を選んでしまっている児童が52.9%
- 【課題2】** 図表やグラフなどを用いた目的を捉えることができる。
 (設問 1一) 書く (平均正答率58.8%)
 資料の利用目的を考えられず、二問中一問も正当が23.6%、無解答が17.6%

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

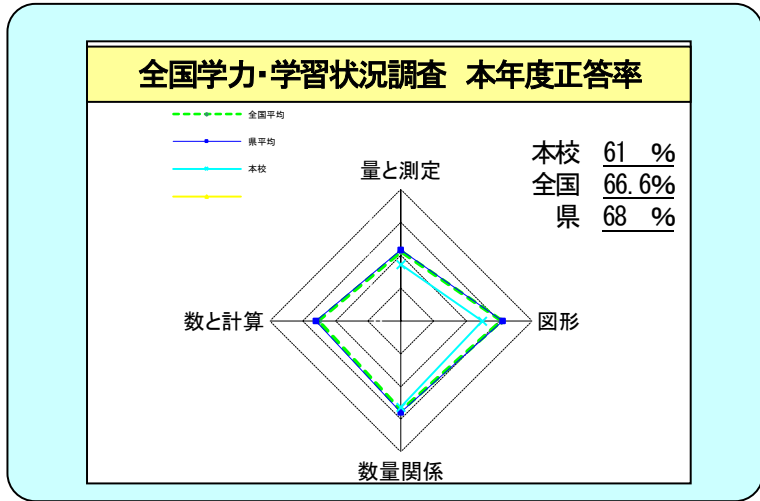
- 【課題1】**
 - 話し合う学習において、テーマに対する複数意見の要点をメモしながら聞き、それに対する自分の考えを記述する活動を設定する。
 - 目的に応じた質問や応答を複数比較検討する活動を設定するなど、理由を挙げながら考察させる指導を行う。
 - 【課題2】**
 - 自分の伝えたいことを伝えるために必要な資料を集め、整理分析する中で目的に合う資料を選ぶ学習を設定する。また、資料を提示しながら発表する授業を他教科との関連を図りながら行う。
- ※ 小中一貫した取組については、文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをもたせ、情報を整理し、内容を捉える学習活動を取り入れる。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法			6年 H31 全国学力 ³ 二	5年 H31 全国学力 ³ 二	1～6標準学力調査	5年 H31 全国 ³ 二類似問題	
目標値			70%	60%	75%	70%	
実施後数値			71%	75%	84%	81%	

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法			6年 H31 全国学力 ¹ 一	5年 H31 全国学力 ¹ 一	1～6標準学力調査	5年 H31 全国 ³ 二類似問題	
目標値			80%	60%	75%	70%	
実施後数値			82%	75%	69%	88%	

来年度に向けて

「話す聞く」領域では、成果が表れているので、今後も要点メモの活用や目的に応じた質問・応答の比較検討の場を設定していく。
 目的に応じた資料を選択・活用して記述することに課題が残る。教材文での学びの場や反復に重点を置き、継続して指導する。



重点課題

【課題1】資料の特徴や傾向を関連付けて、一人あたりの水の使用量の増減を判断し、その理由を記述できる。(設問2(3))数量関係・量と測定(平均正答率 35.3%)市全体の使用量が変わらないことから一人あたりも変わらないと判断した児童が29.4%

【課題2】図形の性質や構成要素に着目し、ほかの図形を構成することができる。(設問1(2))図形(平均正答率35.3%)
ずらす・回すことで構成する図形を捉えることができず、2つを選択した児童が29.4%

重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業)

【課題1】
 ・ グラフの数値から読み取れる情報について説明や記述させる活動を設定する。
 ・ 複数のグラフを関連付けて単位量当たりの大きさを考察させる指導を行う。

【課題2】
 ・ 図形学習において、辺や角の大きさに着目した分類、合成・分解による模様づくりなど具体的な操作の活動を多く設定する。
 ・ 面積の求答や多様な図形問題の反復練習を取り入れ、図形の構成や性質を理解させる指導を行う。

※ 小中一貫した取組については、自分の考えを、理由や根拠を明確にして示し、筋道を立てて説明することや、必要な情報を取り出したり、複数の資料を関連付けて分析したりする学習活動を取り入れる。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法			6年 H31全国学力2(3)	5年 H31全国学力2(3)	1~6標準学力調査	6年 H31全国2(3)類似問題	
目標値			60%	60%	70%	70%	
実施後数値			65%	53%	70%	75%	

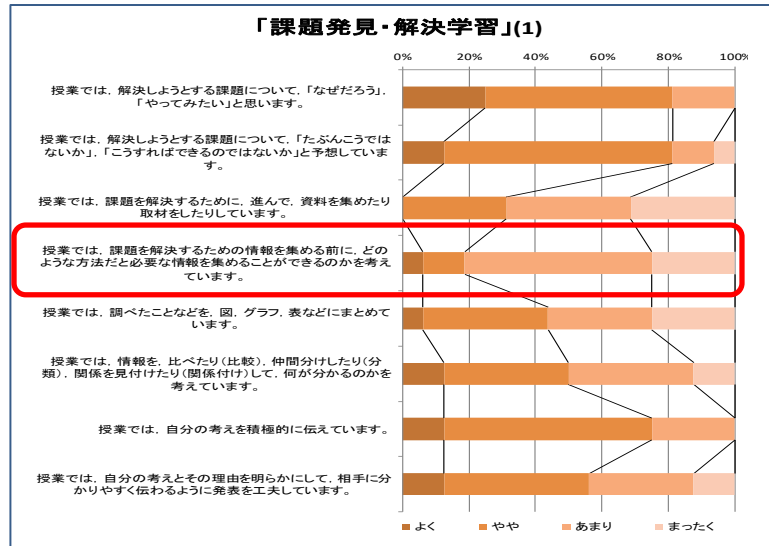
【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法			6年 H31全国学力1(2)	5年 H31全国学力1(2)	1~6標準学力調査	5年 H31全国1(2)類似問題	
目標値			60%	60%	70%	70%	
実施後数値			76%	81%	65%	88%	

来年度に向けて

同一問題や類似問題の反復により定着度が向上しているため、取組を継続する。
 図形学習では、操作と考えの過程や理由づけ、そのつながりの説明を丁寧に指導し、理解を深める。

2 質問紙調査（「基礎・基本」定着状況調査：児童質問紙調査）（全国学力・学習状況調査：児童質問紙調査）

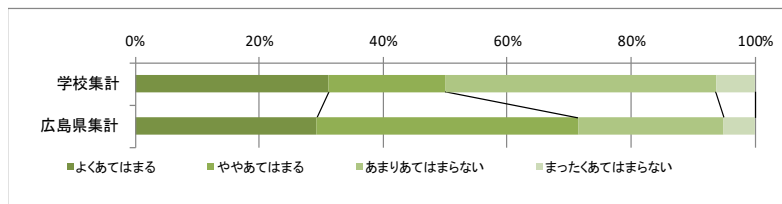
(1) 生活・学習



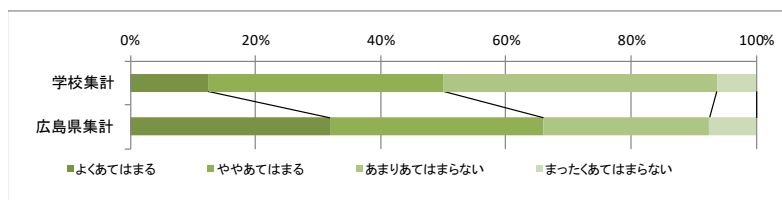
	児童の回答についての課題 (現状値)	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施後数値
基礎・基本	課題を解決するための情報を集める前に、どのような方法だと必要な情報を集めることができるのかを考えている。(18.8%)	情報収集の方法を具体的に提示し、発達段階や学習内容に適した方法の学習や体験を設定する。また、情報収集の際、どのような方法が適切か意見交流する場面を設定する。	5	50%	児童アンケート	1月	100%
全国	授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表している。(52.9%)	発表の仕方を教室に掲示し、視覚化する。ドリルタイム等で、スキル練習をしたり、発表の構成メモを作ったりする。また、授業の発表場面で資料提示の仕方を交流し、効果的な方法を指導する。	6	70%	児童アンケート	1月	88%

(2) 教科

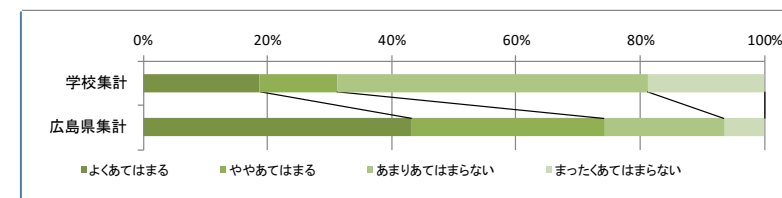
国語の授業では、伝えたいことの方がうまく伝わるように話の組み立てを考えて話したり、話の中心を考えて聞いたりしています。



算数の授業では、とき方や考え方を話し合うときに理由をあげて説明しています。



理科の授業で学んだことを、ふだんの生活で使ったり学んだことをどのような場面で使えるのか考えたりしています。



	児童の回答についての課題 (現状値)	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施後数値
国語	基礎・基本	授業では、伝えたいことの方がうまく伝わるように話の組み立てを考えて話したり、話の中心を考えながら聞いたりしている。(50.0%)	5	70%	児童アンケート	1月	100%
	全国	国語の勉強は好きである。(52.9%)	6	70%	児童アンケート	1月	82%
算数	基礎・基本	授業では、とき方や考え方を話し合うときに理由をあげて説明している。(68.8%)	5	80%	児童アンケート	1月	81%
	全国	授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしている。(64.7%)	6	80%	児童アンケート	1月	88%
理科	基礎・基本	授業で学んだことを、ふだんの生活で使ったり学んだことをどのような場面で使えるのか考えたりしている。(31.3%)	5	60%	児童アンケート	1月	94%